

北東地協会長に佐々木組合長を選出 北海道・東北地方協議会 第57回 定期大会



北海道・東北地方協議会は9月27～28日に、秋田市「秋田温泉さとみ」で第57回定期大会を開催しました。各道県連から143人が参加。議長に千葉直樹（秋田建労）、村上政勝（全建福島）を選出、大会の幕を切った。

主催者を代表して宮地明北東地協会長（全建福島）は「今、社会保障があらゆる面で削られています。その中で建設国保が厚生労働省から概算要求として2992.8億が提案されました。満額を勝ち取るため財務省・各省、地元の国会議員にみなさんの力で強く働きかけ、今年と同じように増額できるように運動していきたい。全国の仲間と共に戦い抜き本当に安心・安全の生活ができる組合運動を推し進めなければなりません。今日と明日と短い時間ですが、実りある大会を期待します」とあいさつしました。

開催地を代表して佐々木澄夫組合長は「先輩たちから北東地協は強い絆で結ばれていると聞いています。さまざまな難題を抱えている建築業界ですが、今日と明日、活発な討議を交わし総括していただきたい。秋田大会が盛大かつ記憶に残る大会になることを期待します」と話しました。

議事に入り第56年度経過報告、決算報告、監査報告、第57年度事業計画、予算案を拍手で承認後、来期の役員については北海道・東北地方協議会会長に佐々木澄夫組合長を万雷の拍手で承認し選出しました。

その後各分科会に分かれて専門部ごとの討議に移り一日目が終了。二日目は各分科会の報告と全建総連 勝野圭司書記長の情勢報告を受け、全日程を無事に終了しました。

開会あいさつ 佐藤 四男幹事（山形県連）

開会のあいさつで、佐藤四男（山形県連）幹事がはじめに、「東北地方に上陸した台風 10 号の北上で甚大な災害に見舞われ、尊い命を奪われた皆様方に心からご冥福を申し上げます。そして被害に遭われた方々に心からお見舞い申し上げます」とお見舞いの言葉を話し続けて「私たちを取り巻く情勢は、依然厳しいものがあります。建設職職人の仕事と暮らしを守るため建設国保の安定的な運営の取り組みや、組織拡大などの取り組みを行ってきましたが、まだまだ道半ばです。この大会で前進に向けた建設的な討論をされ実り深い定期大会になることを期待します」と力強く開会を宣言しました。



議長選出

大会議長 千葉 直樹（秋田建労）
村上 政勝（全建福島）

議長団あいさつ



「議長に選任されました秋田建労の千葉直樹です。同じく全建福島の村上政勝です。よろしくお願いします。」

大会参加者の建設的なご意見をいただきながら、議事を進行して行きたいと思いますので、大会参加

者のみな様方のご協力をよろしくお願い致します」



北東地協会長あいさつ 宮地 明会長（全建福島）



「今、社会保障があらゆる面で削られています。その中で建設国保が厚生労働省から概算要求として2992.8億が提案されました。満額を勝ち取るため財務省・各省、地元の国会議員にみなさんの力で強く働きかけ、今年と同じように増額できるように運動していきたい。いろいろな問題も山積されている中、全国の仲間と共に戦い抜き本当に安心・安全の生活ができる組合運動を推し進めなければなりません。今日と明日と短い時間ですが、実りある大会を期待します」

「今年は役員改選です。みなさんの力でこの二年間北東地協の会長を務めて参りました。新会長についてもみなさんのご理解とご協力をお願いします」



全建総連中央執行委員長あいさつ
全建総連中央執行委員長 三浦 一男（山形県連）



「一つは東日本大震災から五年が過ぎて、また熊本で大きな災害が起きました。3.11の仮設住宅の経験を踏まえて全木協と全建総連が協力して、560棟の仮設住宅を建てました。建物はそれなりの様に見えるが、内部の使用は架設レベルではありません。

全国の仲間の支援がいろんな形で行われていることに改めてお礼を申し上げます。

もう一つは、リフォーム協会が国土交通省から認可されました。ハウスメーカー、大手工務店、リフォーム店は新築が頭打つになってくると、どうしてもリフォームに出てきます。全建総連では登録されたリフォーム協会を何とかみんなで活かして、少しでも仕事確保の道筋が出来ればと思います。どのような形で団体を知らせ、知ってもらうことでどう貢献できるか、皆様のご理解ご協力よろしく申し上げます」

「来月に入ると全国大会があります。大会が終了してすぐに来年度の予算要求の活動をします。みんな

で地元国会議員や各省庁に顔を出し運動を進めたいと思っていますのでご協力お願いします」

地元代表あいさつ 秋田建労 佐々木 澄夫組合長

「先輩たちから北東地協は強い絆で結ばれていると聞いています。さまざまな難題を抱えている建築業界ですが、今日と明日、活発な討議を交わし総括していただきたい。秋田大会が盛大かつ記憶に残る大会になることを期待します。皆さんがんばってください」



来賓あいさつ 全建総連書記長 勝野 圭司（秋田建労）

「全建総連、9月7、8日と中央委員会を開催して、来月12日から14日まで福岡県博多市で開催される第57回全建総連定期大会の議案を確認しました。今日、明日の北東地協の大会がこの定期大会に向け、北東地協の仲間の団結を固めて運動を一步前進させる大会になることを期待します」



議事

- (1) 第56年度 経過報告、決算報告、会計監査報告 拍手で承認



- (2) 第57年度 事業計画(案)、予算(案) 拍手で承認

- (3) 全建総連 中央執行委員長 三浦 一男 (山形県連会長・顧問) 拍手で承認

- (4) 全建総連 副中央執行委員長 池田康明 (宮城県建設職組合連合会 会長) 拍手で承認

- (5) 全建総連 北海道・東北地方協議会会長及び副会長

会長 秋田建築労働組合 佐々木 澄夫 組合長

副会長 山形県連 佐藤 四男 委員長
を拍手で承認

分科会

第1分科会(社会保障・労働) 出席者44人

「国保の予算確保と労災事故防止について」

座長 稲葉 清 (青森)

分科会報告 伊藤 昇 (山形)



第2分科会(賃金・税金) 出席者35人

「賃金獲得運動と大衆増税反対運動について」

座長 櫻井 晃 (宮城)

分科会報告 濱口 美智子 (北海道)





第3分科会（住宅・技術）出席者

「住宅デーの取組みと後継者育成について」

座長 鈴木 辰彦（秋田）

分科会報告 菅原 正敏（山形）



第4分科会（組織・教宣・共済福祉・財政）出席者

34人

「組織拡大運動と財政について」

座長 大峠 勝志（岩手）

分科会報告 大堀 昌孝（福島）

1日目終了

二日目 議長 村上政勝（全建福島）

分科会報告

第1分科会（社会保障・労働）出席者 44人

「国保の予算確保と労災事故防止について」

分科会報告 伊藤 昇（山形）



社会保障対策と国保組合予算現行確保についてハガキ要請行動など活動報告、労災事故防止の対策と労災保険の加入についてな学習会やパトロール、標語の募集など、各県連から取り組みと報告がありました。

第2分科会（賃金・税金）出席者 35人

「賃金獲得運動と大衆増税反対運動について」

分科会報告 濱口 美智子（北海道）

各県連組合から賃金対策と税金対策の取り組み報告があり、賃金調査について各県連の報告の中には、引き上げられた公共工事設計労務単価の賃金が実際には8000円から10000円の格差があることが報告された。標準見積書の普及に向けた学習会については難しさや問題点が報告された。

大衆増税反対については北東地協としての取り組み、税金対策については各県連組合から独自取り組み報告がありました。



第3分科会（住宅・技術）出席者

「住宅デーの取組みと後継者育成について」

分科会報告 菅原 正敏（山形）



各県連より独自の住宅デーの取り組みと地域のつながりについて報告がありました。

後継者育成については、全建総連青年技能競技大会に向けて参加者の掘り起こしや講習会の取り組み、技能士習得者への取得費用の補助金や祝金の給付について報告がありました

第4分科会（組織・教宣・共済福祉・財政）出席者34人

「組織拡大運動と財政について」

分科会報告 大堀 昌孝（福島）



多くの時間を本部会館建設について、会館建設本部財政検討委員会の佐藤四男さん（山形）から建設費用、一組合員当たり月額10円と組合費15円、トータルで25円に値上げる内容の詳しい説明がありました。組織については、各県連・組合の組織状況と拡大目標と拡大運動の取り組みと課題について報告がありました。

教宣活動については各県連・組合がミニ教宣に参加した感想など述べていましたが秋田建労は、全建総連の機関紙「全建総連」と秋田建労の機関紙「けんちく」を毎月班長さんが手渡ししていること。秋

田教宣学校を開催していることなど報告をしました。

質疑応答・意見交換



青森県連の仲間より：「第4分科会に出席しましたが、発表時間はありましたが質疑応答の時間が無かった。全体として時間が少なかった。検討してほしい」と意見が出ました。

宮地 明担当中執：「時間の配分については毎回いろいろな意見がありますので、次回については今後も検討します」と答弁しました。

講演 全建総連書記長 勝野 圭司



全建総連からの情勢報告の中で、厚労省が財務省に提出する予定の国保組合概算要求について、総額で2992.8億円と2016年度予算比で49億円増となったと説明があり年末までの取り組みとして、ハガキ要請行動、予算要求中央総決起大会、予算要求中央行動、国会議員懇談・要請など「とにかく、ありとあらゆる手を尽くす」と力強く述べ、引き続き運動の強化と協力をお願いがありました。

また、社会保険未加入対策について国交省が打ち

出した未加入対策の5年間の取り組み期限の来年3月まで、残すところ半年。来年4月からは全ての現場でチェックが行われる見通しであることから、社会保険未加入事業所対策を確実にやりきらないといけないと述べました。

住宅リフォーム市場における仲間の信頼と仕事確保について、住宅リフォーム事業者団体登録制度に全国8番目の団体として登録を受けて消費者に向けての周知と仕事確保に向けて一層努力が必要だと述べました。



議長団及び書記解任

拍手を送る

閉会の挨拶 全建総連福島 鈴木 章一執行委員長



秋田建労 佐々木組合長をはじめ組合員の皆さまには大変ご難儀かけましたことを心よりお礼申し上げます。「皆さま方のご協力により予定していた全ての議案が承認されたことを改めて御礼申し上げます。次回開催は福島県です。万全の態勢でお待ちしています」と述べた。